

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念について、職員間の意識やとらえ方にずれが生じることがあり、日々の実践に明確に生かすことが出来ていないことがある。	全職員が、理念について、握り下げられた内容まで理解共有でき、ケア方針の統一ができる。	理念について職員会議、勉強会を実施し「穏いと安らぎそして笑い声」の理念を基に、日頃のケアが生かせるように、具体的な取り組みについて、話し合い内容を文書化して周知する。	3カ月
2	2	地域の学校との交流が、「子どもSOS」の指定だけで、行事等の交流が図れていない。	地域の方々にホームのことを知って頂くと共に、認知症についての理解を深めて頂く。	広報活動の実施、地域の方や子供たちとの交流を図る。地域行事への積極的参加。	12カ月
3	10	アセスメントは、職員全体で取り組んでいるが、モニタリング、プランの作成の一連の作業は、計画作成担当者がほぼ行っており、要望はくみ取っているが、他の職員、家族、利用者と共に行えてはいない。	個々の入居者の力を発揮できるようなプランを作成し、介護職や家族を中心に支援を行う。	アセスメント、モニタリングを担当職員を中心に計画作成担当者と共に行い、職員が、見て分かりやすく実行しやすいように、様式の検討を行う。 本人の思いや家族の希望をくみ取り、プランの作成を行う。	3カ月
4	13	地域と連携した避難訓練の実施が出来ていない。	地域住民、消防と連携し避難訓練及び救命処置について訓練を行う。	訓練の実施。地域住民、消防との連携を図る。	6カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。